



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 アイエーグループ 株式会社  
コード番号 7509 URL <http://www.ia-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 教行  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 岡野 良信

TEL 045-821-7500

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,867	△2.1	△53	—	22	△76.0	△14	—
28年3月期第1四半期	8,036	3.1	12	△93.8	95	△64.9	33	△76.1

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △40百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 42百万円 (△71.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△1.78	—
28年3月期第1四半期	4.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	30,860	13,847	44.9
28年3月期	32,000	14,107	44.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 13,847百万円 28年3月期 14,107百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	0.4	700	23.6	1,000	9.0	530	18.0	64.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無  
(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	8,226,800 株	28年3月期	10,126,800 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	207,613 株	28年3月期	1,932,858 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	8,115,178 株	28年3月期1Q	8,332,576 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
(4) 追加情報.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(セグメント情報等).....	8

## 1.当四半期決算に関する定性的情報

### (1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策の推進等を背景に緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、英国のEU離脱問題や新興国経済の景気減速懸念により、その先行きは依然不透明な状況となっております。また、個人消費につきましても雇用・所得環境に改善が見られるものの、その回復には力強さを欠いております。

そのような中、当社グループは基幹事業であるカー用品事業、ブライダル事業ともに厳しい環境下での経営を余儀なくされました。

その結果、当連結会計年度の売上高は7,867百万円（前年同期比2.1%減）となり、営業損失につきましては53百万円（前年同期は12百万円の利益）、経常利益につきましては22百万円（前年同期比76.0%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は法人税等35百万円を計上の結果、14百万円（前年同期は33百万円の利益）となりました。

なお、セグメント別の状況は下記の通りとなります。

#### （カー用品事業）

車検やメンテナンス等のピットサービス部門及び自動車販売部門が堅調に推移し、売上高に寄与しました。しかしながら、前会計年度の記録的な暖冬により、冬用タイヤの販売不振が夏用タイヤの履き替え需要を減少させたことも影響し、前年同期に比べ減収減益となりました。

#### （ブライダル事業）

平成28年3月に石川県金沢市にアルカンシエル金沢をグランドオープンし、8式場での営業となりましたが、販売管理費の増加に加え、一部既存式場における施行組数及び施行単価が減少したことにより、前年同期と比べ減収減益となりました。

#### （建設不動産事業）

保有物件の積極的な売却や収益性の高い建築工事に注力した結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

#### （その他の事業）

平成28年2月に神奈川県藤沢市にコマダ珈琲1店舗をオープンし、コマダ珈琲4店舗が売上に寄与いたしました。その結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

### (2)財政状態に関する説明

当連結会計年度における総資産は30,860百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,139百万円減少しました。

#### a. 流動資産

流動資産残高は、9,507百万円（前連結会計年度末比779百万円減）となりました。主な減少要因は現金及び預金の減少であります。

#### b. 固定資産

固定資産残高は、21,353百万円（前連結会計年度末比359百万円減）となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少であります。

#### c. 流動負債

流動負債残高は、8,417百万円（前連結会計年度末比497百万円減）となりました。主な減少要因は、未払消費税等の減少であります。

#### d. 固定負債

固定負債残高は、8,595百万円（前連結会計年度末比381百万円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少であります。

## e. 純資産

純資産残高は、13,847百万円（前連結会計年度末比260百万円減）となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少であります。

自己資本比率は、44.9%となり前連結会計年度末比0.8ポイントの増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の発表から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は、僅少であります。

## (4) 追加情報

## (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,029,077	1,141,538
売掛金	1,157,567	1,055,153
たな卸資産	6,084,449	6,240,655
繰延税金資産	333,514	352,634
その他	682,747	717,518
貸倒引当金	△365	△365
流動資産合計	10,286,992	9,507,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,311,947	9,080,879
土地	5,131,697	5,131,697
リース資産(純額)	241,277	227,162
その他(純額)	569,998	534,738
有形固定資産合計	15,254,920	14,974,476
無形固定資産		
電話加入権	7,784	7,784
のれん	263,721	242,335
その他	116,692	128,494
無形固定資産合計	388,198	378,615
投資その他の資産		
投資有価証券	192,102	154,831
長期貸付金	22,967	22,942
長期前払費用	420,903	406,448
差入保証金	4,366,888	4,339,674
繰延税金資産	956,084	967,188
その他	134,452	132,390
貸倒引当金	△22,967	△22,942
投資その他の資産合計	6,070,431	6,000,533
固定資産合計	21,713,550	21,353,625
資産合計	32,000,542	30,860,760

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,293,641	1,471,248
短期借入金	4,022,044	3,907,044
リース債務	85,968	80,628
未払法人税等	268,565	55,924
未払消費税等	397,831	176,927
未成工事受入金	75,257	80,165
賞与引当金	397,592	591,818
役員賞与引当金	48,000	-
ポイント引当金	192,408	199,587
資産除去債務	986	989
繰延税金負債	66,210	85,331
その他	2,066,919	1,768,330
流動負債合計	8,915,425	8,417,995
固定負債		
長期借入金	5,791,826	5,398,815
リース債務	164,904	153,390
長期預り保証金	1,276,078	1,276,995
退職給付に係る負債	387,549	393,276
役員退職慰労引当金	250,000	262,500
資産除去債務	1,086,637	1,090,522
繰延税金負債	16,934	16,934
その他	3,450	3,080
固定負債合計	8,977,381	8,595,514
負債合計	17,892,806	17,013,510
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	12,102,356	10,831,912
自己株式	△1,177,716	△142,137
株主資本合計	14,063,530	13,828,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,600	20,723
繰延ヘッジ損益	△2,395	△2,138
その他の包括利益累計額合計	44,205	18,584
純資産合計	14,107,736	13,847,250
負債純資産合計	32,000,542	30,860,760

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	8,036,373	7,867,874
売上原価	4,488,169	4,423,053
売上総利益	3,548,203	3,444,821
販売費及び一般管理費	3,535,587	3,497,843
営業利益又は営業損失(△)	12,616	△53,021
営業外収益		
受取利息及び配当金	8,673	9,069
受取手数料	25,979	18,972
受取家賃	29,125	34,616
その他	43,379	29,553
営業外収益合計	107,158	92,211
営業外費用		
支払利息	13,559	11,403
その他	10,447	4,833
営業外費用合計	24,007	16,237
経常利益	95,767	22,951
特別損失		
固定資産除却損	-	1,811
特別損失合計	-	1,811
税金等調整前四半期純利益	95,767	21,139
法人税等	62,293	35,561
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,474	△14,421
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	33,474	△14,421



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,474	△14,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,765	△25,877
繰延ヘッジ損益	166	257
その他の包括利益合計	8,931	△25,620
四半期包括利益	42,406	△40,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,406	△40,041

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会決議に基づき、平成28年5月31日付で、自己株式1,900,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,157,695千円減少し、当第1四半期連結会計期間末において利益剰余金が10,831,912千円、自己株式142,137千円となっております。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,846,735	2,686,750	406,733	7,940,219	96,153	8,036,373	—	8,036,373
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,100	—	81,157	82,257	324,933	407,190	△ 407,190	—
計	4,847,835	2,686,750	487,890	8,022,477	421,086	8,443,564	△ 407,190	8,036,373
セグメント利益又は損失(△)	15,317	△ 791	24,839	39,365	△ 29,408	9,957	2,659	12,616

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,686,226	2,638,692	435,268	7,760,186	107,688	7,867,874	—	7,867,874
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,071	50	56,905	58,026	347,991	406,017	△ 406,017	—
計	4,687,297	2,638,742	492,173	7,818,213	455,679	8,273,892	△ 406,017	7,867,874
セグメント利益又は損失(△)	△ 99,336	△ 26,828	54,204	△ 71,959	16,811	△ 55,148	2,126	△ 53,021

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。